

行政報告の主な内容（6課9項目）

(1)総務課	新型コロナウイルス感染症対策等について
	執行体制について
	国の栄典関係について
(2)企画商工観光課	平成31年度ふるさと応援モニター事業の実績について
(3)町民生活課	町税等の収納状況について
(4)保健福祉課	共同生活援助事業所(GH さくら)の開設について
(5)農業振興課	農作物の生育状況について
(6)教育振興課	上富良野高校の入学状況について
(7)総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(令和2年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症についてであります。この間、北海道独自の緊急事態宣言や国による緊急事態宣言の発出など、感染症の拡大防止に向けて、国民が一丸となって取り組んできたところでもあります。

町民の皆様には、公共施設の利用制限や学校の臨時休校、こども園の登園自粛、また、ラベンダーハイツのショートステイ、デイ・サービスの利用制限など、すべての方々に人との接触を極力控えるようご協力をいただいていたところであり、ご理解とご協力いただきましたことに改めて感謝申し上げる次第であります。

それでは、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策等についてありますが、本町におきましては、2月24日に対策本部を設置し、同日1回目の対策本部会議を開催して以降、4月には町内で複数名の感染者が発生する中で、これまで15回の対策本部会議を開催し、日々変化する状況に応じて対応を図ってきたところでもあります。

また、この間、感染リスクの高い3つの密を避けるための行動自粛や休業要請により、町民皆様方の日々の生活や地域経済活動などに様々な影響を及ぼしていることから、それらに対応した施策を積極的に講ずるとともに、必要となる補正予算については、3回の町議会臨時会と専決処分を1回行い対応してきたところでもあります。

主なものにつきましては、まず、子育て支援関係では、認定こども園の保育料につきましては、4月18日から5月31日までを期間とし、登園自粛された4園84名に対し、日割り計算により74万9千360円の減免措置を行ったところであります。

次に、町内児童・生徒に対する関係では、北海道の休校要請を受け2月27日から春休みまでの間、その後、新学期が始まる4月6日から17日までを登校としましたが、再び4月20日から5月31日までの間を休校といたしました。

休校期間中は子どもたちの学習面、生活面、健康面のサポートに最善を尽くすとともに、計画的な分散登校を行い、6月1日の学校再開を迎えたところであります。

なお、保護者の状況により、休校中における必要な児童の見守りについては、放課後クラブにおいて対応を図ったところであります。

また、長期にわたる公共施設の利用制限により、図書館の利用についても中止しておりましたが、5月12日から31日までの間、「図書宅配サービス」を実施し、62名、547冊の利用をいただきました。

次に、町税・国民健康保険等の関係では、地方税法の改正により、新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての町税を対象に納期内の納税が困難である事業者等に対し、1年間納税を猶予できる特例制度が設けられたことから、6月22日現在、件数で8件、金額で約760万円の納税の猶予を実施したほか、国民健康保険税においては、「新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免取扱要綱」を、介護保険料においては、「介護保険料減免取扱要綱」を制定し、対応を図っているところであります。

また、国民健康保険及び後期高齢者医療に加入する給与等の支払

いを受けている被保険者の方々についても、新型コロナウイルス感染症に感染又は感染疑いにより、給与の支払を受けられない方に対しても、傷病手当金を支給できるよう条例改正を行ったところであります。

次に、緊急経済対策関係では、この間の外出自粛要請や休業要請などの一連の感染症予防対策により、業績悪化が著しい商工事業者を中心に、事業の継続に繋がるよう町独自の対策として、新たな融資制度や経営継続奨励助成金制度をいち早く創設し、対応を図ってきたところであります。

これらの制度の対応状況ではありますが、6月22日現在、融資については件数で39件、融資額で9千970万円、経営継続奨励助成金については件数で153件、交付額で3千260万円となっております。

また、今月から展開しております「おうちでグルメ事業」ですが、開始早々から多くの町民の皆様にご利用いただいております、あわせて、プレミアム率を30%とする「プレミアム商品券発行事業」も既に予算化を終えたことから、これらの事業を通じて地域経済回復の下支えになることを期待しているところであります。

次に、国の特別臨時給付金事業関係ですが、特別定額給付金については、5月11日からオンライン申請の受付、5月25日から郵送申請の受付を開始し、6月22日現在、4,983件(93.8%)の申請を受付し、4,946件(93.1%)の給付決定を終えているところであります。

また、子育て世帯への臨時特別給付金については、6月10日に対象世帯366世帯に口座振込を行ったところであります。

新型コロナウイルス感染症対策については、緊急事態宣言が解除されたものの、根本的な対策が確立されていない中で、終息にはま

だまだ長い時間を要するとともに、感染の第2波、第3波が懸念される状況にあります。

「新しい生活様式」への変革を進めながら、町民皆様の安心、安全な暮らしと地域活力の回復の両立を目指し努めてまいります。

(総務課行政報告【総務班関係】)

次に本年度4月からの執行体制についてであります。職員数については、昨年度中の定年退職者など8名の欠員に対して、看護師2名、技師1名、介護士1名、一般事務職4名の採用を行い、昨年度当初と同じく193名による執行体制としたところであります。

今後とも、町民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるため、必要な組織体制の見直しを加えながら、業務の円滑な推進と体制の強化に取り組んで参ります。

次に、国の栄典関係についてであります。4月1日発令の高齢者叙勲において、永年にわたり上富良野町議会議員を務められた松田勝利氏が、旭日単光章を受章され、6月5日に伝達させていただきました。また、4月29日発令による危険業務従事者叙勲においては、防衛功労として3名が瑞宝双光章、1名の方が瑞宝単光章を受賞されたところであります。

改めて、受賞された皆様のこれまでの功績に心から敬意を表しますとともに、ますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

(企画商工観光課行政報告 [企画政策班関係])

次に、平成31年度における、ふるさと応援モニター事業の実績についてであります。件数で15,705件、金額にして約2億

3千471万円のご寄附があったところであり、モニター商品代金や配送料、取扱委託料など、必要経費の約9千307万円を差し引いた金額は約1億4千164万円となり、今後の事業に備えた基金への積立てを行うとともに、事務事業の円滑な遂行に向け、適切に歳出化を図ってまいります。

掲載するサイトにつきましても、本年度から「ANA」と「ふるなび」での取り扱いも開始したところであり、本事業を通じまして、本町の産業振興はもとより、「かみふらのブランド」の知名度、魅力向上を図っていくとともに、自主財源の確保に努めてまいります。

(町民生活課行政報告 [税務班関係])

次に、町税等の徴収状況についてであります。例年どおり、納税相談や滞納者に対する督促・差押え等を行い、徴収に努めてまいりました。

これらにより、平成31年度の収納率は、滞納繰越分を含め、町税で99.2%、国保税で98.6%と高い水準を確保できたところであり、滞納繰越金は、町税で798万円、国保税で395万2千円となっております。

今後も納期内納税の啓発と収納率の向上に努めてまいります。

(保健福祉課行政報告 [福祉対策班関係])

次に、障がい福祉サービス等事業所設置についてであります。社会福祉法人富良野あさひ郷が計画をしておりました障がい者グループホーム「共同生活援助事業施設(介護サービス包括型)さくら」の設置について、町内の一軒家を取得後住宅改修し、本年5月に事業開始を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため開始時期を延期し、6月から開始されたところであり、

今後、障がい者の福祉の充実に大いに貢献されることを期待しているところでもあります。

(農業振興課行政報告 [農業振興班関係])

次に、農作物の生育状況についてであります。今春は、例年より早く雪解けが進んだものの、5月初旬に雨天が続き作業の遅れが心配されたところではありますが、耕起作業をはじめ、播種・移植など、春作業もほぼ順調に推移し、農作業、生育ともに平年並みに進んでいるところでもあります。

引き続き、今後の生育状況を注視しつつ、農業関係機関相互の連携を図り、農業者の皆様とともに豊穡の秋が迎えられるよう努めてまいります。

(教育振興課行政報告 [学校教育班関係])

次に、上富良野高校への入学状況についてであります。今春の新入学者数は、地元の中学卒業生16名を含む31名となり、全校生徒数は、74名となったところでもあります。

また、特色ある学校づくりの一環として、本年度から希望する生徒44名を対象に「学校給食」をスタートしたところでもあります。

今後とも、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、魅力ある学校づくりへの支援と地元高校の存続に努めてまいります。

(総務課行政報告 [財政管理班関係])

最後に、建設工事の発注状況についてであります。本年度、入札執行した建設工事は、6月11日現在、件数で11件、事業費総額で1億9千665万8千円となっております。

また、本年度、発注予定の建設工事は39件で、その情報につい

ては4月1日付けで公表したところであります。

なお、お手元に「令和2年度建設工事発注状況」を配布しておりますので、後程ご高覧いただきたく存じます。